

# 知っているようで知らない地域のこと 横山地区自治会連合会のとりくみ

吉田 貴亮 横山地区自治連会長に聞きました



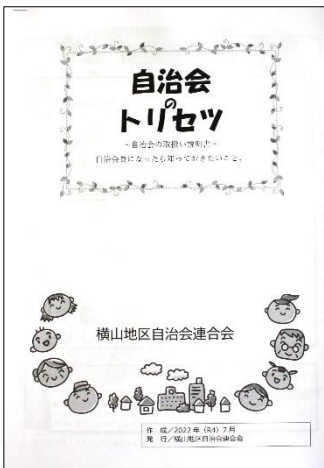
新任会長説明会(8月実施)

横山地区自治会連合の取り組みのひとつとして、毎月1回、横山地区の23自治会の会長が集まって、自治会長会議を行っています。単なる連絡で終わることなく、各単位自治会の情報交換を行うように努めています。

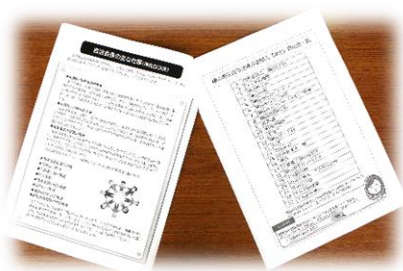
また、新任会長を対象に、年1回説明会を行います。今年度は、自治連で作成した資料「自治会のトリセツ」をもとに、自治会の基本的な考え方や、自治会の意義などを8月に実施しました。初めての会長にとってのよい手助けとなったと思います。

また、最近の取り組みとしては、防災意識を高めるねらいで、災害時に無事な場合に自宅の玄関ドアに結びつける「安否確認タオル(黄色)」を地区内全戸に配付しました。

最後になりますが、コロナの影響がまだ完全になくならない現在ですが、2年間できなかった「どんど焼き」、今年度はぜひ実施したいですね。



「自治会のトリセツ」  
自治会の基本が、わかりやすく  
書いてあります



黄色い安否確認タオル



### 【編集後記】

この三年間、ふと気づけばコロナの影響で「つながり」が切れぎれになっている感は否定できない。公民館の職員が変わったとか、地域のあの人が長年やっていた役を降りたとか、後になって伝わってくるものが多くなってきた気がする。人だけではない。新しい建物が建設中である、おや？前にあったあのお店はどうしたのだろう。今こそつながりを大切にしたい。(M)

ずっとここに住んでいて、まだ地域のことかわかっていないことがたくさんある。地域のことをこの館報よこやまでも積極的に発信していけたらいいのではないだろうか。(K)